

立命館創始140年・学園創立110周年記念

主催 立命館大学国際言語文化研究所

110<sup>th</sup> R

2010年

11月5・12・19・26日(金)

開場 16:00 開催 16:30~19:00

立命館大学創思館1階 カンファレンスルーム

秋季連続講座「グローバル・ヒストリーズ—国民国家から新たな共同性へ」  
第1シリーズ

# トランスアトランティック トランスパシフィック

Trans Atlantic - Trans Pacific

第1回 11月5日(金)

グローバル・ヒストリーズとは何か

—トランスアトランティック・トランスパシフィックな視点をもとに

第2回 11月12日(金)

日本を《太平洋》から眺める

第3回 11月19日(金)

平和構築のために—ジェンダー・アプローチの可能性

第4回 11月26日(金)

カリブは周縁か

問い合わせ 立命館大学国際言語文化研究所  
TEL:075-465-8164 E-mail:genbun@st.ritsumei.ac.jp

参加費・  
事前申込不要

立命館大学国際言語文化研究所では、全21シリーズ、あしかけ15年にわたって連続講座「国民国家と多文化社会」を開催してまいりました。この連続講座での論議から生み出された成果は、現代世界における「国民国家」の在り方を批判的にとらえなおす重要な流れを形成してきたといっても過言ではありません。

しかしながら、これまでの問題設定と批判の枠組みだけでは、今世紀になって惑星規模でクローズ・アップされてきた様々な論点や矛盾を論じるには十分とはいえません。

世界はグローバル資本主義の展開のなかで、地球に生きるすべての人々が目には見えない速度と強度をそなえたネットワーク状の力によって《植民地化》されたかのような、まったく新たな段階に達しています。この事態が浮き彫りにしたものは、わたしたちの世界が、互いに非対称的かつ重層的に接続しあうダイナミックな歴史的結合関係によって織りなされているということです。

こうした動態は「国民国家」批判の枠を越えるばかりではなく、「環境問題」や「南北問題」も従来論じられてきたものとは根底的に異なる視座から再考することを要請するものでしょう。今や、新たな問題設定のもとでアクチュアルな課題をとりあげ、人文学の批判的思考をとおして議論を共有していく時期に至っています。

そしてそのためには、《今・ここ》に連なる複雑な歴史的結合関係をふまえ、より広くより深く研究を展開していくための協働の機運を形成していくことが不可欠です。

このような問題意識をもって本研究所は、「グローバル・ヒストリーズ」と総称する新しい連続講座を開始いたします。その第一弾として、「トランスアトランティック-トランスパシフィック」をテーマとした秋季連続講座(11月全4回)を行なうこととなりました。

多くの方々のご参加を心よりお待ちしております。

## 秋季連続講座「グローバル・ヒストリーズ—国民国家から新たな共同性へ」第1シリーズ

# トランスアトランティック-トランスパシフィック

### 第1回

11月5日(金) 16:30~19:00

#### グローバル・ヒストリーズとは何か

—トランスアトランティック-トランスパシフィックな視点をもとに

司会 / 嶋山政毅(立命館大学)  
基調報告 / 米山 裕(立命館大学)  
「海を越えることの意味—トランスアトランティック-トランスパシフィックな歴史研究の成果と可能性」  
コメント / 小澤卓也(京都産業大学)

### 第2回

11月12日(金) 16:30~19:00

#### 日本を《太平洋》から眺める

司会 / 嶋山政毅(立命館大学)  
報告 / 石原 俊(明治学院大学)「小笠原-硫黄島から日本を眺める」  
森 宣雄(聖トマス大)「沖縄-奄美から日本を眺める」  
コメント / Charles FOX(立命館大学)

### 第3回

11月19日(金) 16:30~19:00

#### 平和構築のために—ジェンダー・アプローチの可能性

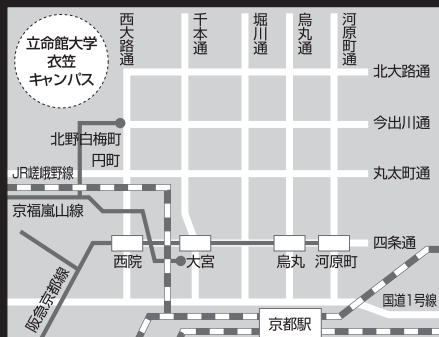
司会 / 池内靖子(立命館大学)  
報告 / 柴田修子(同志社大学)  
「戦時性暴力の被害者から変革の主体へ—中米クアテマラにおける民衆裁判の取り組み」  
坂本利子(立命館大学)「南アフリカの真実和解委員会と女性たちの証言」  
コメント / 嶋山政毅(立命館大学)

### 第4回

11月26日(金) 16:30~19:00

#### カリブは周縁か

司会・コメント / 西 成彦(立命館大学)  
報告 / 中村隆之(東京外国語大学)  
「『高度必需』とは何か?—フランス海外県からポストコロナル状況を考える」  
久野量一(法政大学)「キューバでアンティールを考える」  
鈴木慎一郎(関西学院大学)「カリブ海のユートピア / ティストピア」



### アクセス

#### 立命館大学 衣笠キャンパス

- JR-近鉄 京都駅より 市バス50-205
  - JR 円町駅より 市バス15-204-205
  - 阪急電車 西院駅より 市バス205
  - 阪急電車 大宮駅より 市バス55
  - 地下鉄 西大路御池駅より 市バス205
  - 京阪電車 三条駅より 市バス15-59
- 市バス15-50-55-59にて「立命館大学前」下車/徒歩5分  
○市バス204-205にて「衣笠駅前」下車/徒歩10分 西門



お問合せ先

立命館大学国際言語文化研究所

TEL:075-465-8164 E-mail:genbun@st.ritsume.ac.jp

URL:[http://www.ritsume.ac.jp/acd/re/k-rsc/lcs/lcs\\_index.htm](http://www.ritsume.ac.jp/acd/re/k-rsc/lcs/lcs_index.htm)